

令和 2 年度

事業報告書

令和 2 年 4 月 1 日から

令和 3 年 3 月 3 1 日まで

公益財団法人宮城県水産振興協会

I 組織の状況

1 主な活動事項

年 月 日	事 項	場 所 等
令和 2年 3月23日 ～6月 1日	アワビ採卵・採苗	協会内
令和 2年 5月14日	ホシガレイ種苗搬入(宮古)	東北区水産研究所沿岸 漁業資源研究センター
令和 2年 5月25日 ～11月 2日	アワビ種苗出荷剥離	協会内
令和 2年 5月29日 ～11月 6日	アワビ引渡し	宮城県
令和 2年 5月19日	令和元年度決算監事監査	亘理町、仙台市
令和 2年 5月28日	第28回定時理事会	書面決議
令和 2年 6月 1日	みやぎ漁師カレッジ長期研修開講式	宮城県水産技術総合センター
令和 2年 6月12日	第10回定時評議員会 第29回臨時理事会	書面決議
令和 2年 6月19日	漁業経営安定対策本部通常総会	宮城県水産会館
令和 2年 6月24日 ～7月 1日	ホシガレイ稚魚(中間育成)放流	県内8ヶ所に放流
令和 2年 6月25日	役員変更登記申請	仙台北務局
令和 2年 6月26日	松島湾浅海漁業振興協議会役員会	JF塩釜総合支所
令和 2年 6月30日	法人異動届出書提出	七ヶ浜町役場・塩釜県 税事務所・塩釜税務署
令和 2年 7月10日 ～10月31日	豊かな海づくり大会ホシガレイ リレー放流等	県内6ヶ所
令和 2年 7月15日	宮城県内水面漁業協同組合連合会 よりさけます増殖協会への要望	協会内
令和 2年 7月16日	ヒラメ種苗搬入	岩手県栽培漁業協会
令和 2年 7月22日	ヒラメ種苗搬入	岩手県栽培漁業協会
令和 2年 7月30日	宮城県産地魚市場協会総会 水産物流通対策協議会通常総会	ホテル白萩
令和 2年 7月31日	松島湾浅海漁業振興協議会総会	グランドパレス塩釜
令和 2年 8月 3日	第40回全国豊かな海づくり大会 宮城県実行委員会第5回総会	江陽グランドホテル
令和 2年 8月11日	令和2年度宮城県さけます増殖協 会理事会・通常総会	松島大観荘
令和 2年 8月21日 ～9月 4日	ヒラメ稚魚放流	県内14ヶ所に放流
令和 2年 8月27日	基本財産次年度定期預金利率交渉	宮城県漁業協同組合信用 共済部

令和 2年 9月10日 ～11月19日	アワビ種苗剥離	協会内
令和 2年 9月11日	中部地区栽培漁業推進協議会 通常総会	J F 石巻総合支所
令和 2年 9月15日 ～9月24日	さけ事業経営実態調査実施	県内15団体
令和 2年 9月17日	資源管理型漁業推進支援事業 (潜水調査)	石巻市内
令和 2年 9月18日	種苗生産施設取水関係打合せ	協会内
令和 2年 9月23日	基本財産預金口座変更	J F 各総合支所 (石巻から塩釜へ)
令和 2年 9月27日	漁師カレッジ短期研修希望者 就業相談	協会内
令和 2年 9月30日	さけ事業経営実態調査報告	宮城県庁
令和 2年10月 8日	「水産業振興基本計画」地域説明会	J F 塩釜総合支所
令和 2年10月23日	ホシガレイ育成に係る打合せ	宮城県本町分庁舎
令和 2年10月27日	漁師カレッジ研修生・永沼優志の マスコミ取材立会い	雄勝町桑浜
令和 2年11月 2日 ～12月16日	さけ放流体制緊急転換事業業務	気仙沼市、美里町、協 会内
令和 2年11月10日	公認会計士定期監査	協会内
令和 2年11月11日	さけ種卵会議	矢本西市民センター
令和 2年11月13日	第30回臨時理事会	パレス松洲
令和 2年11月13日	七ヶ浜町立向洋中学校視察	協会内
令和 2年11月15日	みやぎ漁業就業支援オンラインフェ ア	J F 七ヶ浜支所
令和 2年11月17日	宮城県漁船漁業振興協議会通常総 会に係る監事監査	宮城県漁業共済組合事 務所内
令和 2年11月18日	ホシガレイ委託事業検収	協会内
令和 2年11月27日 ～11月29日	みやぎ漁師カレッジ短期研修	七ヶ浜町、東松島市、 塩竈市
令和 2年11月27日	F M 仙台との協会広報放送打合せ	協会内
令和 2年12月 2日	さけ密漁対策業務	亘理町
令和 2年11月12日 ～12月24日	アワビ親貝購入	十三浜支所、歌津支所 、唐桑支所、七ヶ浜支 所
令和 2年12月 3日	寄附金受け入れ	協会内

令和 2年12月 4日	アワビ生産状況等打合せ	県水産業基盤整備課
令和 2年12月 7日 ～12月11日	山形県枡川からのサケ受精卵受け入れ業務	加美町、気仙沼市、南三陸町
令和 2年12月16日	みやぎ漁師カレッジ振返り研修	宮城県水産技術総合センター
令和 2年12月17日	みやぎ漁師カレッジ閉講式	宮城県水産技術総合センター
令和 2年12月18日	自衛隊宮城本部との自衛隊退職者のみやぎ漁師カレッジ受講打合せ	協会内
令和 2年12月18日	賛助会員への事業説明・継続加入依頼	県内
令和 2年12月21日	県さけます増協会長による知事及び県議会議長他への要望書提出	県庁舎、議会庁舎
令和 2年12月22日 ～令和3年 1月26日	担い手事業資料調査	県内各地
令和 2年12月24日	担い手事業社会貢献型自販機説明	J F みやぎ・本所
令和 3年 1月 4日	山形県移入卵配布立合い	南三陸町
令和 3年 1月 6日	担い手事業社会貢献型自販機説明	J F 表浜支所
令和 3年 1月12日	HOPE FOR MIYAGI 放送番組収録	F M 仙台北社
令和 3年 1月13日	仙台法務局役員変更登記打合せ	協会内
令和 3年 1月15日	種苗生産施設打合せ	協会内
令和 3年 1月15日	賛助会員への事業説明・継続加入依頼	県内
令和 3年 1月20日	自衛隊宮城本部との自衛隊退職者のみやぎ漁師カレッジ受講打合せ	協会内
令和 3年 1月21日 ～3月30日	さけ稚魚検収・放流立合い	県内さけふ化場
令和 3年 1月28日	種苗生産機関技術研修会	県石巻合庁
令和 3年 1月28日	さけ増殖振興プランヒアリング打合せ	協会内
令和 3年 1月29日	栽培漁業全国推進会議	県石巻合庁
令和 3年 2月 3日	担い手事業社会貢献型自販機説明	気仙沼市、南三陸町、女川町
令和 3年 2月 3日 ～2月15日	ホシガレイ受精卵搬入	協会内

令和 3 年 2 月 8 日	七ヶ浜町トリガイ種苗生産打合せ	七ヶ浜町役場
令和 3 年 2 月 1 0 日	担い手事業社会貢献型自販機説明	県職員厚生課
令和 3 年 2 月 1 0 日	菊池監事議事録確認	亶理町役場
令和 3 年 2 月 1 0 日	役員変更届提出	仙台北法務局
令和 3 年 2 月 1 6 日	担い手事業社会貢献型自販機説明	県東部地方振興事務所
令和 3 年 2 月 1 7 日	第 2 回放流体制検討広域協議会	宮城県水産技術総合センター
令和 3 年 2 月 1 8 日 ～ 3 月 4 日	さけ増殖振興プランヒアリング	亶理町、気仙沼市、南三陸町
令和 3 年 2 月 2 2 日	水揚げ協力金受取り	みなと塩釜魚市場
令和 3 年 2 月 2 6 日	アワビ事業打合せ	協会内
令和 3 年 3 月 4 日	第 2 回広域種資源造成検討会	宮城県水産技術総合センター
令和 3 年 3 月 5 日	担い手補助金履行調査	協会内
令和 3 年 3 月 8 日 ～ 3 月 2 9 日	アワビ採卵・採苗	協会内
令和 3 年 3 月 1 0 日	公認会計士定期監査	協会内
令和 3 年 3 月 2 5 日	小林県水産林政部長退任挨拶	協会内
令和 3 年 3 月 2 5 日	第 3 1 回定時理事会	書面決議
令和 3 年 3 月 3 1 日	第 1 1 回臨時評議員会	書面決議

2 組 織（令和3年3月31日現在）

（1）評議員

	常 勤	非常勤	計
評議員の数	—	8 人	8 人

（2）理事及び監事

	常 勤	非常勤	計
理事の数	1 人	8 人	9 人
監事の数	—	2 人	2 人

(3) 職 員

職員の数	16人	うち常勤	8人
------	-----	------	----

3 賛助会員

令和3年3月31日 現在

区 分	所在市町	会費納入口数	入会年月日
遊漁船団体 荒浜釣船組合 籬遊漁船組合	亶理町 塩竈市	15 2	H17. 4. 11 H17. 5. 13
小 計 2		17	
遊漁船単体 有限会社 きくしん	亶理町	6	H17. 4. 11
小 計 1		6	
遊漁者団体 くろしおフィッシングクラブ	塩竈市	2	H9. 6. 23
小 計 1		2	
釣具店関係 株式会社 竹乃皮屋	仙台市	1	H17. 9. 14
小 計 1		1	
遊漁関連団体 宮城県定置漁業協会 大友 久義（個人会員、定置漁業者） 有限会社 丸真運輸（個人会員）	石巻市 東松島市 仙台市	1 6 2	H17. 9. 14 H17. 6. 2 H19. 1. 25
小 計 3		9	
一般団体 有限会社藤澤会計事務所	仙台市	1	R1. 12. 25
小 計 1		1	
合 計 9（うち個人会員2）		団体会員28口 個人会員 8口	

※ 震災後、活動を休止している団体もあるが、当協会の事業への取組みや、内容等についてはすべての団体にお知らせしている。

※ 会費は団体会員が1口1万円、個人会員が1口5千円に設定している。

※ 令和2年度賛助会費納入実績は32万円となっている。

【 寄附金 】

- ・ 塩竈カジキ釣り大会実行委員会 10万円（令和2年12月 3日）
- ・ 釣り船 晋漁丸 10万円（令和2年12月25日）

4 評議員会等の開催状況

(1) 評議員会

開催年月日	主な決議事項等
令和 2 年 6 月 1 2 日	第 1 0 回定時評議員会（決議の省略の方法による） 決議事項 1 令和元年度事業報告及び収支決算の承認について 2 評議員及び役員（理事）の選任について 3 定款の変更について 報告事項 1 令和 2 年度事業計画及び収支予算について 2 令和 2 年度事業の進捗状況について
令和 3 年 3 月 3 1 日	第 1 1 回臨時評議員会（決議の省略の方法による） 決議事項 役員の選任について

(2) 理事会

開催年月日	主な決議事項等
令和 2 年 5 月 2 8 日	第 2 8 回定時理事会（決議の省略の方法による） 決議事項 1 評議員会の招集について 2 評議員及び役員（理事）の新任候補者について 3 令和元年度事業報告及び収支決算の承認について 4 特定費用準備資金の新規保有等について 報告事項 1 令和 2 年度事業の進捗状況について
令和 2 年 6 月 1 2 日	第 2 9 回臨時理事会（決議の省略の方法による） 決議事項 1 代表理事 1 名の選任について 2 代表理事の年間総報酬について

開催年月日	主な決議事項等
令和 2 年 1 1 月 1 3 日	第 3 0 回臨時理事会 場所：パレス松洲 2 階「芙蓉の間」 決議事項 1 コンプライアンス規程の制定について 2 社会貢献型自動販売機設置に係る覚書締結について 報告事項 1 新任の評議員並びに理事について 2 基本財産の運用について 3 令和 2 年度上半期の財務状況及び事業の執行状況について 4 令和 3 年度の新規事業について 5 職場におけるハラスメント防止に係る細則の制定について
令和 3 年 3 月 2 6 日	第 3 1 回定時理事会（決議の省略の方法による） 決議事項 1 令和 3 年度事業計画（案）及び収支予算（案）について 2 特定費用準備資金の計画変更について 3 職員給与規程の一部変更について 4 代表理事の年間総報酬について 5 役員の新任候補者について 6 臨時評議員会（書面による決議）の招集について 報告事項 1 令和 2 年度事業の執行状況（令和 3 年 2 月末日現在）について

Ⅱ 事業の進捗状況

〈 要 旨 〉

平成27年10月に七ヶ浜町松ヶ浜に完成した宮城県水産技術総合センター養殖生産部の施設に当協会事務所を移転して5年目となる令和2年度は、アワビ種苗生産事業やヒラメ稚魚の中間育成放流事業を始め、平成30年度から開始したホシガレイ中間育成技術の習得に引き続き取り組むとともに、みやぎの漁業担い手育成支援事業等を展開した。

アワビについては、本県産アワビを親貝として得た幼生を飼育し、20mm以上の種苗968.25千個を宮城県に納品した。本年度は、飼育水槽内での動物プランクトン増殖による稚貝の減耗で、目標とした1,000千個を若干下回った。

ヒラメの中間育成・放流については、岩手県栽培漁業協会から購入した30mm種苗250千尾の飼育に7月中旬から取り組み、平均全長70mm種苗110.5千尾を8月下旬までに、県内9箇所配布・放流した。なお、中間育成中のへい死により計画放流数20万尾の確保が困難になったことから、平均全長69mm～80.5mm種苗10万尾を岩手県栽培漁業協会より搬入し、県北部・南部地区5箇所に直接放流した。また、仙台湾へ放流した中間育成魚5.5千尾に背鰭上端をカットした標識を付けて放流するとともに、標識ヒラメの再捕報告をお願いするポスターを作成して、県内魚市場や遊漁船業者・釣具店等へ配布して放流事業の啓発に努めた。

ホシガレイの種苗生産技術研修については、令和2年1月に水産研究・教育機構宮古庁舎から受精卵を搬入し、県の指導により育成を行った。生産した稚魚は、7月から10月にかけて豊かな海づくり大会関連行事として県内6ヶ所で開催されたリレー放流等に供するとともに、魚病試験用として県水産技術総合センターに搬出した。また、令和3年2月に宮古庁舎より受精卵21万粒を搬入し、県水産技術総合センターの指導のもと飼育技術習得に取り組んでいる。ホシガレイの中間育成・放流については、全長50mmの種苗55千尾搬入し、中間育成後の6月下旬から7月上旬に平均全長約72mmの稚魚20.5千尾を県内8箇所の地先海面に放流した。

資源管理型漁業の推進については、ドローンや潜水による磯焼け漁場のモニタリング調査を実施すると共に、県内各団体が取り組む資源管理型漁業の推進及び漁場環境保全活動を支援する助成制度を前年度に引き続き実施し、5団体に補助金を支出して資源管理型漁業の普及啓発に努めた。

みやぎの漁業担い手確保育成支援事業については、協会内に設置した「宮城県漁業就業者確保育成センター」を運営し、漁業就業に関する相談・照会等に対応した。さらに、本県では4期目となる「みやぎ漁師カレッジ」長期研修に際し、受講生募集等を宮城県及び関係機関と連携して取り組むとともに、漁業就業予定の長期研修受講生への支援金受給手続きのサポートを実施した。長期研修生（一般）2名については、7ヶ月間の様々な研修を修了し、それぞれ希望する漁業種類に就業することができた。また、漁家子弟の研修生3名も漁業従事に必要とされる小型船舶操縦免許やフォークリフト等の資格を取得した。

なお、フォークリフト及び小型移動式クレーン運転技能講習資格取得に要する経費について、当協会を通じて受講生に1/2の補助金を交付した。

さらに、3日間の短期研修を11月に開催し、一般研修生9名が参加した。

また、さけふ化場採捕施設に関する実態調査業務を県から受託することにより、本県の重要な秋さけ資源造成体制の安定を図った。

〈 事業活動の実績 〉

○公益目的事業

資源管理型漁業の推進に関する事業

1 アワビ種苗の生産

東日本大震災により県内のアワビ資源は大きなダメージを受けていることから、これまで以上に継続的な種苗放流が不可欠となっている。

令和2年度は、県からのアワビ種苗生産業務委託に基づき、種苗の生産・出荷に下記のとおり取り組んでいる。

(1) 令和2年度放流用種苗（宮城県産）の生産

令和元年4月、5月に県内産アワビ母貝から採卵・採苗を行った約8,735千個の種苗を飼育し、令和2年5月から7月にかけて、春出荷分として県を通じて県内の漁協各支所等に殻長25mm以上の種苗686.25千個を出荷した。

さらに、令和2年10月から11月にかけて、秋出荷分として殻長20mm以上の種苗282千個を出荷した。本年度は、飼育水槽内での動物プランクトン増殖により、稚貝の減耗が確認された。

【令和2年度アワビ放流種苗の生産実績】

配布時期	平均殻長 (mm)	配布個数 (千個)	備 考
令和 2年 5月29日 ～7月22日	26.9	686.25	
令和 2年10月16日 ～11月 6日		282	
合 計		968.25	

(2) 令和3年度放流用種苗（宮城県産）の生産

令和3年3月末現在で平均殻長18.3mm種苗約121万個を飼育している。

(3) 令和4年度放流用種苗（宮城県産）の生産

令和4年度放流用種苗の生産に向け、令和2年11月以降に宮城県漁業協同組合の唐桑、歌津、十三浜、七ヶ浜の各支所から親アワビ（母貝）を購入し、令和3年3月から5月に採卵を行い、1,128.5万個の稚貝を得た。

なお、母貝の養成水槽4槽及び採苗水槽5槽で従来のボイラー加温水かけ流し式から、半閉鎖循環式に改め、重油購入経費の削減に努めた。

2 ヒラメ種苗放流事業

令和2年度も、ヒラメ資源の維持・増大を図るため、当協会の自主事業として中間育成及び放流に取り組むとともに、ヒラメの放流効果等把握のため、背鰭上端をカットした標識を付けて仙台湾へ5.5千尾を放流した。また、県内主要8港のヒラメ水揚げ状況の把握に努めた。

令和2年度は、中間育成中の8月に選別後の大量へい死が発生した。県水産技術総合センターに魚病検査を依頼し、滑走細菌症と診断された。

(1) ヒラメ種苗の中間育成及び放流の状況

資源管理型漁業、栽培漁業の推進のためには、広域的な連携のもと継続的な種苗放流が必要であることから、今年度は岩手県栽培漁業協会より種苗を購入し、中間育成後に宮城県及び関係機関と連携して県内各地区に放流した。

なお、中間育成中のへい死により計画放流数の確保が困難になったことから、直接放流用種苗10万尾を岩手県栽培漁業協会より搬入し、県北部・南部地区に放流した。

【令和2年度ヒラメ種苗中間育成の概要】

種苗搬入	搬入サイズ・数量	放流時期	放流サイズ・数量	種苗購入先
令和 2年 7月16日 ・ 7月22日	平均全長 30mm 270千尾	令和 2年 8月21日 ～ 8月28日	平均全長 70mm 合計 110.5千尾	岩手県栽培 漁業協会

【令和2年度ヒラメ直接放流の概要】

種苗搬入	搬入サイズ・数量	放流時期	放流サイズ・数量	種苗購入先
令和 2年 8月28日 ・ 9月 4日	平均全長 80.5mm 50千尾 69mm 50千尾	令和 2年 8月28日 ・ 9月 4日	平均全長 69mm 80.5mm 合計 100千尾	岩手県栽培 漁業協会

【令和２年度ヒラメ放流実績】

地区	放流月日	放流場所 (地先)	放流 尾数	平均体長	放流方法	備考
北部	9月4日	鮎立漁港	12.5千尾	69mm	岸壁放流	直接放流
〃	〃	日門漁港	12.5千尾	〃	〃	〃
〃	〃	管の浜漁港	12.5千尾	〃	〃	〃
〃	〃	袖浜漁港	12.5千尾	〃	〃	〃
小計			50千尾			
中部	8月21日	田代島 (渡波漁港)	16.25千尾	70mm	地先放流	中間育成 放流
〃	〃	小積 (渡波漁港)	16.25千尾	〃	〃	〃
〃	〃	指浜漁港	16.25千尾	〃	岸壁放流	〃
〃	〃	長面漁港	16.25千尾	〃	〃	〃
小計			65千尾			
南部	8月28日	菖蒲田漁港	5.5千尾	70mm	地先放流	標識(背鰭 前端部カ ット)中間 育成放流
〃	8月24日	室浜漁港	10千尾	〃	地先放流	中間育成 放流
〃	〃	閑上漁港	10千尾	〃	岸壁放流	〃
〃	〃	荒浜漁港 (亶理町)	10千尾	〃	岸壁放流	〃
〃	〃	磯浜漁港	10千尾	〃	岸壁放流	〃
〃	8月28日	花刈・ 吉田浜	50千尾	80.5mm	地先放流	直接放流
小計			95.5千尾			
合計			210.5千尾			

(2) 水揚げ状況調査

県内主要8港のヒラメ水揚げ状況を魚市場・関係漁協各支所等の報告に基づき月別にとりまとめた(別添資料1-2)。

令和3年3月末日現在の水揚げ量は693トンで前年同期871トンの80%弱である。水揚げ量の減少とともに、新型コロナウイルス感染症防止対策によりヒラメ単価が下落しており、水揚げ金額は4億65百万円となり、前年同期7億2百万円の66%と減少した。このことによりヒラメ水揚げ協力金は前年同期比68%の23百万円に留まった。

3 ホシガレイ種苗放流事業

ホシガレイ資源の維持・増大を図るため、関係各機関と連携し、本年度も種苗生産技術研修に取り組んだ。令和2年1月23日及び27日に東北区水産研究所宮古庁舎より受精卵25万粒を搬入し、県水産技術総合センターの指導のもと、飼育技術習得に取り組んだ。育成した稚魚は、7月10日から10月31日にかけて、豊かな海づくり大会関連行事として県内6ヶ所で開催されたりレー放流等に供するとともに、魚病試験用として県水産技術総合センターに搬出した。

また、前年度に引き続き実施した中間育成については、令和2年5月14日に東北区水産研究所宮古庁舎で生産された全長50mmの種苗55千尾を搬入して巡流水槽にて中間育成を行い、6月24日から7月1日にかけて県内8ヶ所に全長約72mmの種苗20.5千尾を放流した。今年度は、中間育成中にシュードモナス(細菌)による魚病が発生したことから、生残率が低下した。

来年度の豊かな海づくり大会用放流種苗育成に向けて、飼育施設内の消毒の徹底や、担当職員に対する魚病研修の実施等、防疫対策の強化を図る予定である。

なお、中間育成の費用については、宮城県資源管理型漁業実践協議会の補助金を充当した。

【令和2年度ホシガレイ種苗中間育成の概要】

種苗搬入	搬入サイズ・数量	放流時期	放流サイズ・数量	種苗搬入先
令和2年 5月14日	平均全長 50mm 合計55千尾	令和2年 6月24日 ～ 7月1日	平均全長 約72mm 合計20.5 千尾	東北区水産 研究所 (宮古庁舎)

【令和２年度ホシガレイ放流実績】

地区	放流月日	放流場所 (地先)	放流尾数	平均体長	放流方法	備考
北部	6月24日	波路上漁港	1,900尾	71.5mm	岸壁放流	
〃	〃	蔵内漁港	1,900尾	〃	〃	
〃	〃	寄木漁港	1,900尾	〃	〃	
〃	〃	袖浜漁港	1,900尾	〃	〃	
小計			7,600尾			
中部	7月1日	船越漁港	1,850尾	72.3mm	岸壁放流	
〃	〃	鮫ノ浦漁港	1,850尾	〃	〃	
小計			3,700尾			
南部	6月29日	花渚・吉田浜	4,900尾	72.3mm	地先放流	
〃	6月30日	菖蒲田浜漁港	4,300尾	〃	地先放流	
小計			9,200尾			
合計			20,500尾			

4 資源管理型漁業、栽培漁業の普及・啓発

資源管理型漁業、栽培漁業の推進を図るため次の事業を実施した。

(1) 資源管理型漁業推進支援事業

平成28年度に積み立てた「資源管理型漁業特定費用準備資金」を活用し、県内沿岸における水産資源の永続的な利活用に向けて、関係者一体となった資源管理型漁業の推進を図るため、以下の事業を実施した。

事業の実施に際しては、理事会はもとより宮城県関係各課及び公所への説明と、市町・NPO団体や遊漁団体等への周知を行った。

1) 各団体への助成事業

	団 体 名	主な活動内容	補助額
1	JF みやぎ・石巻市東部支所 漁業研究会	ナマコ中間育成時の沖出しにて収容器具改良により飼育管理手法検討	183,000
2	JF みやぎ・唐桑支所	海中造林用アラメ種苗生産・育成、ウニ食害防止	176,000
3	JF みやぎ・大谷本吉支所	海中造林手法の改良、アラメ種苗生産・育成	58,000
4	JF みやぎ・歌津支所 マリクラブミナト	海中造林用大型アラメ種苗育成、アラメ種苗生産	74,000
5	JF みやぎ・気仙沼地区支所 (大島出張所)	海中造林用コンブ種苗育成、アラメ種苗生産	90,000
	合 計		581,000

2) 水産振興協会実施事業

令和2年9月17日に、県中部地区の磯根漁場において、ライントランセクト法による潜水目視調査と、ドローンによる調査海域の空撮・藻場繁茂状況確認を行った。

(2) 機関誌等の発行

当協会の機関誌である「ゆたかな海」第6号（別添資料1-2）を令和2年10月に発行し、関係機関に配布するとともに、ホームページにて取組内容や掲載資料を随時更新し、協会の現状や、事業の内容について分かりやすい情報の発信に努めた。

(3) 資源管理意識の啓発

令和2年12月から令和3年1月にかけて、当協会の賛助会員である遊漁船業者及び遊漁者（プレジャーボート）の各団体に対して、協会の現状と事業内容を周知し継続加入を働きかけた。

(4) 施設見学への対応

本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、七ヶ浜町松ヶ浜の種苗生産施設の見学等は極力受け入れを控えたことから、令和3年3月末日までの見学者等は9団体30名となった。

5 さけふ化放流団体ふ化事業収支状況調査

宮城県からの調査業務を受託し、県内15のさけふ化放流団体の令和元年度事業収支状況について調査を実施し、その概要を取りまとめた。

6 みやぎの漁業担い手確保育成支援事業

新規漁業就業者確保のため、県や関係機関と連携して下記内容を実施した。

(1) コーディネーターの配置及び相談窓口の設置

令和2年度は漁業担い手育成コーディネーターの配置ができなかったが、漁業就業希望者の相談にワンストップで対応できるよう相談窓口を設置し運営した。

問い合わせ内訳	求職件数	求人件数
長期研修及び短期研修に係るもの	34件	17件
就業支援フェアに係るもの	11件	養殖業 5件 漁船漁業 3件 その他 9件
その他問い合わせ	5件	気仙沼市 5件 南三陸町 1件 女川町 3件 東松島市 2件 松島町 1件 塩竈市 1件 七ヶ浜町 3件 亘理町 1件
合 計	50件	

(2) ウェブサイトの作成、運営

漁業相談窓口、長期研修や短期研修の告知・受講生の募集等をサイト訪問者(新規漁業就業希望者等)にアピールするウェブサイトの作成及び運営に努めるとともに、求人情報を掲載した。

さらに、令和2年度から県内市町の新規漁業就業希望者を対象とした支援制度等のページを設け、亘理町からは漁業就業時に必要な設備や、住宅賃借費用等の助成を受けたい方への情報提供があり、当該ページとリンクさせた上で掲載した。

また、新たにFacebookにて「みやぎ漁師カレッジ」に関する研修生募集情報を発信するとともに、令和3年度長期研修生募集のためのウェブ広告を掲載

した。

(3) 「みやぎ漁師カレッジ」の運営

長期研修及び短期研修の開催・実施にあたり、受講生の募集等を行った。

1) 長期研修の開催

4期目の「みやぎ漁師カレッジ」長期研修に一般受講生2名、漁家子弟3名の計5名が受講した。受講生は令和2年6月1日から12月17日までの7ヶ月間、宮城県の各種漁業に関する講義と実習、一級小型船舶やフォークリフト免許等の取得に加え、希望する漁業種類について2ヶ月間の専門研修に取り組んだ。

当協会は、受講生に給付される国の支援制度（次世代人材投資型事業等）の紹介と受給手続き等の支援、資格取得補助金等の給付に関する支援を行った。

【令和2年度 「漁師カレッジ」開催実績】

【長期研修】

開催期間	開催場所	受講生数	研修内容
令和2年 6月1日 ～ 12月17日 (7ヶ月間)	宮城県水産技術 総合センター 他現地研修	一般 2名 漁家子弟 3名 合 計 5名	・宮城県の水産業等座学 ・各種漁業の現場研修 ・ロープワーク技術習得 ・小型船舶免許等取得 ・希望漁業専門研修 (2ヶ月)

【長期研修生専門研修及び就業受入れ先】

年令	出身地	専門研修先（就業受入れ先）
30	宮城県石巻市	石巻市雄勝地区 ホタテガイ・ホヤ・カキ養殖業
47	宮城県仙台市	東松島市室浜 海苔養殖業

2) 短期研修の開催

短期研修は令和2年11月27日（金）から29日（日）までの3日間、七ヶ浜町内、東松島市内、塩竈市内にて開催した。

当協会は、受講生の募集について、県や関係機関等の方々と連携して運営に取り組んだ。

【短期研修】

開催期間	開催場所	受講生数	研修内容
令和2年 11月27日 ～ 11月29日 (3日間)	七ヶ浜町内 東松島市内 塩竈市内 (塩竈市魚市場)	一般9名	・定置網・籠漁業体験 ・カキ剥き作業体験 ・海苔養殖業施設見学及び 作業体験

【短期研修生就業受入れ先】

年令	出身地	就業受入れ先
18	宮城県 仙台市	石巻市渡波 海苔養殖業

(4) 漁業就業者フェア等へのブース出展

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、11月15日(日)の13時から17時まで漁業就業支援オンラインフェアが開催され、宮城県漁業協同組合七ヶ浜支所の端末会場に参加した。当日は求人側11団体と、新規漁業就業希望者23名が参加した。

○収益事業

水産関連団体事務受託事業

宮城県さけます増殖協会及び宮城県漁船漁業振興協議会から事務業務を受託し、誠実かつ適正に業務を執行した。

本年度も記録的な秋さけ来遊不漁になったことから、親魚と種苗の確保に向け、宮城県さけます増殖協会事務局として県と連携し精力的にその調整に努めた。今漁期は、県外種卵移入の仲介を行い、令和2年12月7日から9日にかけて山形県枡川鮭人工孵化場から受精卵354.7万粒を南三陸町営ふ化場に収容して発眼卵まで育成し、県内5団体に配布して海中飼育用稚魚を生産した。また、令和2年12月21日に、宮城県さけます増殖協会の渥美巖会長理事が、宮城県知事及び宮城県議会議長に対してふ化団体への経営支援対策を実施するよう要望書を提出した。

また、令和2年12月に改正漁業法が施行されたことから、宮城県漁船漁業振興協議会事務局として関係法令をまとめた「改正漁業法関係法令集」を印刷製本し、協議会会員等に配布した。